

▶展示場所 / 九州産業大学図書館1階展示コーナー

▶展示期間 / 2024年11月7日(木)～29日(金)・入場無料(学外の方も大歓迎)

▶展示時間 / 平日9:00～20:00 土・日曜日9:30～17:00

11月17日(日)休館日

九州産業大学図書館所蔵資料の展示を交えて

相島と朝鮮通信使パネル展

ネコの島として有名な相島(藍島とも表記)は、歴史の島でもあります。江戸時代、朝鮮からの使節団が江戸を目指して来日した際には、相島がその宿泊地として使節団をお迎えした歴史があります。この朝鮮国王の国書を江戸の徳川将軍に届ける使節団のことを朝鮮通信使と言います。

今回、相島と朝鮮通信使の関りを知ってもらうために、相島に残る朝鮮通信使関連史跡などをパネルで紹介し、あわせて九州産業大学図書館に所蔵する朝鮮通信使に関する江戸時代の資料の一部を実物展示します。

また、相島や新宮町の観光の一つであるオルレ(トレッキング)についても紹介します。こ

のオルレも韓国の済州島方言に由来していますので今回のテーマとも縁があります。

今回の展示が、朝鮮通信使について知っていただき、相島へ誘う灯台となるようにと、出品者一同思いを込めております。多くのみなさまのご来場をお待ちしております。

■展示内容(一部紹介)

- ・相島と朝鮮通信使に関する写真パネル
- ・相島、新宮町の観光とオルレ
- ・木下順庵筆「朝鮮通信使唱和詩」(1682年)
- ・貝原益軒書状(1711年)
- ・李邦彦(1711年度朝鮮通信使従事官)自筆漢詩句など

■パネル出品者

今村 公亮(相島歴史の会事務局長)

豊島 茂(和歌山大学国際観光学研究センター 客員フェロー)

石川 泰成(九州産業大学地域共創学部 教授)

シム・ウヒョン(九州産業大学造形短期大学部 准教授)

■問い合わせ:

福岡市東区松香台2-3-1九州産業大学地域共創学部 石川泰成

☎092 (673) 5881

✉ishikawa@ip.kyusan-u.ac.jp